

任期満了に伴い、新しい町農業委員会委員が決まりました。委員は、無投票で確定した10人の選挙委員と、町議会や農業関係団体から推薦された選任委員4人を合わせて14人。8月20日から3年間、農地と担い手を守り、活かすための活動を行います。

農業委員14人の顔ぶれ

鈴木努さんが会長に就任



鈴木 努
(52・小屋瀬) 公選

このたび互選により、大役を担うこととなり重責を感じています。

葛巻町は当面自立の方向であり、本委員会も自ら公選の定数を15人から10人に削減し、各種団体推薦も含めて8人の削減となり、14人で始動しました。

農業経営者の高齢化や遊休農地の増加など農業を取り巻く環境は厳しく、我々の仕事は今まで以上に増加するでしょうが、農地の見張り番だけでなく、もっと農政にも関心を持ち、十分議論したうえでパワーと行動力のある委員会にしたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いします。

任期は8月20日から平成21年8月19日まで。左上から議席順に掲載。敬称略



新 下村 作治郎
(53・吉ヶ沢) 公選



新 馬場 正俊
(49・星野) 公選



長峯 一雄
(56・五日市) JA推薦



藤森 雅美
(54・浦子内) 公選



新 藤岡 俊策
(57・田代) 公選



新 坂待 純一
(58・小田) 公選



久保 明夫
(58・山岸) 共済組合推薦



大蛇 忠行
(59・四日市) 公選



深澤 進
(50・野中) 公選



新 千葉 愛子
(52・小屋瀬) 議会推薦



天摩 忠男
(63・山岸) 公選



新 高家 智也子
(46・江刈川) 議会推薦



馬淵 修
(66・田野) 公選

農業委員会は

こんな活動をしています

農業委員会組織は、かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる「懸け橋」を組織理念として活動を展開しています。

主な仕事

■毎月一回の定例総会

毎月一回、総会を開き、農地の権利の設定や転用、現状変更など農業委員会に許可申請や届け出があった書類の内容について審議します。

総会前には、農業委員二人（輪番制）と事務局で、申請書類に基づき現地確認を行っています。

■農地パトロールの実施

年一回、全員で農地パトロールを行うほか、担当地域の農地利用を総点検し、不適正な農地の権利取得や違反転用、農地の遊休化に対する監視活動などに取り組んでいます。

■農地や農家の把握

担当地域の農地の利用や権利関係の現状、農家の実情や意向などを把握します。

■後継者対策の推進

昨年「アトツギー・キューピット事業」と名付け、農業委員が仲間となり後継者対策に取り組んでいます。結婚の相談や支援を希望する方は気軽に声を掛けてください。

■家族経営協定の推進

家族経営協定は、家族が意欲と生きがいをもって農業経営や家庭生活に取り組み環境づくりに役立ちます。農業委員会で積極的に協定の締結を勧め、現在三十六組が締結しています。



今年3月、協定を締結した大上一雄さん、真子さん夫妻(星野)

気軽に「ご相談」を

▼農地を売りたい、売りたい▼農地を借りたい、貸したい▼農作業を引き受けたい、誰かにやってもらいたい▼認定農業者制度や農業関連の税制を知りたい▼農地の相続、農業者年金について知りたい▼など、気軽に農業委員会事務局（☎役場内線二五二）へご相談ください。

■農家相談

農家の世話人として、生活から農業経営まで幅広い農家相談や地域の声に応え、問題の解決に努めます。

■情報の提供

全国農業新聞の購読普及などを通じて、農業者の経営改善やまちづくりに役立つ情報を提供します。

■農業者年金の加入推進

農業者年金は、年間六十日以上農業に従事し、国民年金に加入している人ならだれでも加入できます。現在、加入者は百三十六人です。老後生活の安定・福祉の向上のため、積極的に加入を勧めています。



農業者年金女性農業者グループ「夢ミルクの会」の会員は現在44人。毎年、道の駅協の広い花壇に見事な花を咲かせています。

ご存じですか？

農地保有合理化事業

農地保有合理化事業は、農業経営の規模拡大や農地の集団化を促進するため、農地保有合理化法人（県農業公社など）が農地を買い入れ、または借り入れて担い手農業者に再配分するもので、次のようなメリットがあります。

①農地を売る方は

▼譲渡所得税の特別控除が受けられます。（公社利用・農業委員会あわせの場合、800万円）

②農地を借り方は

▼一定期間（5～10年間）、公社から農地を借りた後、借り賃を差し引いて買うことができます。▼公社保有中の固定資産税は、公社が支払います。▼希望する農業機械などのリースが受けられます。

③農地を貸す方は

▼契約期間が終わると、農地は確実に戻ります。▼3～10年分の小作料の一括前払いが受けられます。

④農地を借りる方は

▼面倒な交渉は、公社が仲介します。▼公社が農地の所有者に小作料の前払いをしていますが、支払いは毎年で金利負担はありません。